



2023年2月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとな
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

こぶし神社でお参りして引いたおみくじの結果に、「大吉」の笑顔！



施設長 貝沼 寿夫

スピード

1年前の今頃は、コロナのクラスター真只中でした。それ以降ここまで利用者さんは感染なくきていますが、このまま何とか皆さん健康で過ごせますよう祈る気持ちでいっぱいです。

あのクラスターの際は、感染の拡がりのスピードに圧倒され、反面初めての出来事に対応がスピーディにできなかった反省もあります。いずれにせよスピードがいかに大切か思い知りました。

さて仕事において求められるものに、質量・スピードが挙げられます。時折何を大切にすべきかわれませんが、もちろんすべて重要な要素です。しかしあえて順序をつけるのとすると、私自身はスピードを最優先すべきかと考えています。それに続いて量・質を求めていくといったスタンスです。

支援の現場において、利用者さんの姿も様々な要因によって変化します。時には待ったなしの対応を迫られる時もあります。そんな時に、絶対に失敗しない方法見つけて：会議で意見出し合って議論して：などと質や量を追い求めるうちに、事態はもつと大事に陥るなんてことも何度も経験してきました。ですから、とにかく早く対応・対処する必要があります。初動の如何によって、その後に大きな影響を及ぼすことも特別なことではありません。

世の中も、日進月歩以上の凄まじいスピードで変化しています。5年10年前の常識が今や非常識とか時代錯誤とか言われる

笑顔

日々の利用者さんとの関わりの中で、「あっ、今この人と私は心が通じ合っているな」と感じる瞬間があります。そんな時、私はとても嬉しくて幸せな気持ちになります。そしてその瞬間やその時の気持ちが大切な思い出になって、「よし！これからも頑張ろう！」と思えるエネルギーに変わります。利用者さんが私にそんな思いをくれるように、私も利用者さんにとって幸せな瞬間を作り出すことの出来る支援者でいたいと思います。

では、幸せな時に人はどんな表情をしているのでしょうか？そこにはきっと「笑顔」があると思います。だから私は日頃から、明るく笑顔で利用者さんたちと接することを心がけています。言葉やジェスチャーより、まっすぐ相手の心に届くのが笑顔なのではないでしょうか。共に笑いあえた時、そこにはきっと幸せな瞬間が生まれているはずだから。これからも笑顔を忘れず、利用者さんたちと素敵な思い出を沢山作っていききたいです。

生活支援員 相内 美友



年末大掃除
★作業室マット張り替えました☆



クッキー作り
★練習重ねて 今ではベテラン☆

フォトニュース ～年末年始の様子～

チャンス

クリスマス会



お正月



新年会

保護者会主催の新年会を開いていただきました。豪華なお弁当をいただき、本格的な人形劇を楽しみました！3年ぶりとなってみんな大盛り上がりでした。ありがとうございました！

早いもので今年もう1ヶ月が経過しました。一月往ぬる二月逃げる三月去るという言葉がありますが、この時期は行事が多く、あっという間に時が過ぎ去ってしまうことを表しています。こぶしでも、今年度の総括や来年度の計画、目標決めなどがこの時期に一挙到来するため、慌ただしい方も多いのではないでしょうか。かく言う私も様々な業務に追われており、年度当初に掲げた自身の目標「余裕を持って取り組む」からだいぶ遠ざかっている状況に不甲斐なさを感じると同時に、なんとか3月末までには挽回して目標を達成するべく、日々格闘しています。

先日テレビ番組で、モデルの富永愛さんが自身の大切にしている言葉「チャンスが来た時につかめる自分であれ」を紹介されており、いつ訪れるかわからないチャンスに備え、トレーニングは欠かさないとお話されていました。こうなりたい、こうありたいという目標が明確で、その目標のために色々なことに挑戦して自分を磨き、「なりたい自分」を発信していると、チャンスはおのずと到来する、と。

自分に巡ってきた何らかの機会をチャンスととらえるには、自分の中に目標や希望がないとできないことであり、加えて明確な強い思いがなければ、訪れたチャンスを前に迷ったりためらったり、はたまた決断を先延ばしにして逃してしまうこともあります。富永さんは全てを実行してチャンスを逃さず、新しいドラマのお仕事を獲得したそうです。

忙しい中來年度の計画や目標を決めているこの時期は、ともすれば時の流れの速さに負けて楽な目標や例年踏襲型の計画を立ててしまうことも、わが身を振り返ってみるとよくあることでした。ですが今回前述の言葉聞き、私もチャンスが来た時につかめる自分でいたいと心底思いました。チャンスに気づくためには、明確な目標と計画が必要で、つかみとるためには事前の準備と発信力、強い思いが必須です。部や課の目標や計画を明確で具体的な、皆が「こうありたい」と思えるものとし、与えられた役割を、誰もが自分の為のチャンスだと捉えることができる、そんな組織づくりをするために慌てずに準備と発信を進めていこうと、決意を新たにすることができたいい機会でした。

総務事務部部长 大神田 千恵



「こぶし給食アンケートの結果」

毎年実施している給食の嗜好調査アンケートを今年も行いました。好きな主食、食材、ごはんの盛り付け量の希望、好みのおかずの調理法などを食べ物のイラストや写真を選んでもらう形で、計 29 名のご利用者に聞き取りをしました。その中の一例をご紹介します。

主食の人気 1位: 麺類 16票 2位: パン 10票 3位: ごはん 3票
好みの調理法の人気 魚: 揚げる 16票 肉: 揚げる 21票 野菜: 煮物にする 10票
食べたい物のリクエスト 1位: お肉 2位: 味噌ラーメン 3位: ハンバーグ

好きな食材ではダントツでお肉が人気で、食べたい物に挙げてくれる方も多数いらっしゃいました。出来る限り献立にも反映させていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

管理栄養士 小林 由記子

声のトーンが大事

年明けに85歳になった義母は、朝、起きるのが大変になってきている様です。目覚まし時計の操作も難しくなっているため、私が声をかけて起きてもらっています。これまでは、ノックをして「朝ですよ～」と声をかけると、「はいい…」と面倒くさそうな返事があるだけで、「起きるの、嫌だな」という雰囲気がありありと感じられていました。

ある時ふと普段支援者が行っている対応を思い出し、思いっきり明るく爽やか(?)に「おはよう！朝ですよ～」と、元気よく声をかけてみました。

するとどうでしょう！「はいい、おはよう～♪」と軽やかな機嫌のよい返事と起床後のスムーズな行動、朝食時には楽しい会話ができるようになったではありませんか。

同じセリフを、ただ声のトーンを変えたただけなのに、その後の反応がまるで違うのです。職場でも自宅でも、「どうしたら気持ち良いやりとりが出来るか」を考えながら、声掛けをしていきたいと思えます。

看護師 新井 朋子